

「接着・接合の最前線」

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会が平成29年度第1回研究会を下記の要領にて開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

<全体概要>

近年の世界的な輸送機器や電子材料の軽量化による省エネ・高性能化への期待が増大し、さらに異種材料との接着・接合の耐久性・安全性を求める流れの中で、接着・接合技術の開発が精力的に行われています。今回は、接着・接合の基盤技術の研究に精通し、さらに産業化への展開にも尽力されている3名の方々から最新の研究動向と今後の展望についてご講演いただきます。

記

- ◆日時：平成29年9月13日（水）14時00分～17時45分
- ◆場所：名古屋駅前イノベーションハブ 会議室
(名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター 15階)
- ◆定員：35名
- ◆参加：協会会員及び公的機関等に属する方（無料）
(※席に余裕がある場合は一般の方も受付いたします。)
裏面申込用紙をFAXでお送りいただくか、電子メールにて出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、下記事務局アドレスへ送信下さい。

■ プログラム

14:00～15:00

「有機ケイ素系ポリマーの活用によるセラミック-アルミニウム接合技術」

北 憲一郎(産総研 構造材料研究部門セラミック機構部材グループ 主任研究員)

概要：有機ケイ素系ポリマーを用いたセラミック-アルミニウムの接合技術を開発した。本接合法は、従来技術では必須とされているハロゲン系フラックスや活性金属を用いた前処理工程を不要とする特徴を有しており、当日は有機ケイ素系ポリマーの特性等を含め、本接合法の接合例や応用例について紹介する。

15:00～15:15 休憩

15:15～16:15

「樹脂-金属、CFRP-金属接合の特性評価と接合メカニズム」

堀内 伸(産総研 ナノ材料研究部門 接着・界面現象研究ラボ 上級主任研究員)

概要：「樹脂-金属」「CFRP-金属」異種材料接合体の特性評価方法の国際標準化活動の概要、および、接合のメカニズムに関する研究内容について概説する。

16:15～17:15

「分子勾配膜・メークリングル活用両面テープの開発」

濱野 尚吉(共同技研化学株式会社 代表取締役)

概要：層間化学の進化を図り、層間における分子架橋度の勾配により、濡れ粘着性と応力吸収の二律を制御することに成功した。その結果、リペア性、低吸収性、高ガスバリア性、高絶縁性、寸法安定性、立体安定性、折り曲げ可能性などの機能を様々に制御できる両面テープを開発できた。

17:15～17:45 総合討論、名刺交換

【お問合せ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局 (名古屋駅前イノベーションハブ内)

TEL:052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai-ml@aist.go.jp

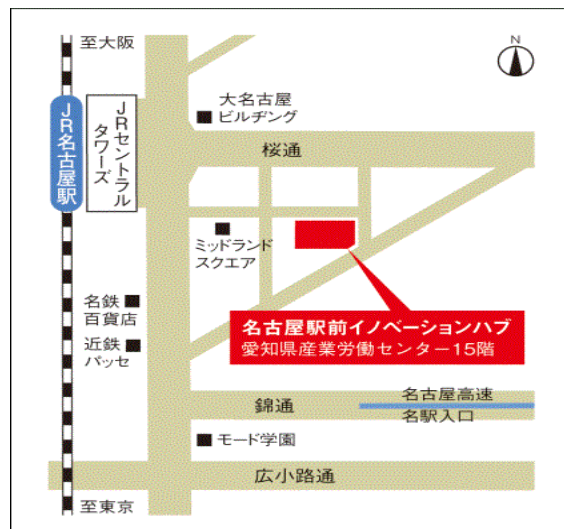
【会場案内】

名古屋駅前イノベーションハブ

TEL:052-583-6454 FAX : 052-583-6462

住所：〒450-0002
名古屋市中村区名駅4丁目4番38号
愛知県産業労働センター
(ウインクあいち) 15階

※「名古屋駅」から徒歩約5分



産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 平成29年度第1回研究会
「接着・接合の最前線」
(平成29年9月13日)

参加申込書

FAX : 052-583-6462

氏名 (代表者)		参加者数	名
勤務先			
部署名		役職	
住所 (連絡先)	〒	TEL: ()	—
		E-mail:	

※本申込書に記載される情報につきましては、個人情報保護法のもとに適切に管理し、本目的以外への転用は行いません。